



JAPAN
MARROW
DONOR
PROGRAM

安全情報

平成 19 年 7 月 19 日

(財) 骨髄移植推進財団
認定施設連絡責任医師 各位

財団法人 骨髄移植推進財団
ドナー安全委員会

採取後、妊娠が判明した事例について

このたび、非血縁者間骨髄ドナーに、骨髄採取後（退院後）妊娠が判明した事例が報告されました。地区事務局からの報告によれば以下のような概要です。

< 経過 >

術前健診時、妊娠反応検査実施し「陰性」を確認。
骨髄採取後、退院時（Day+2）むかつき感あり。ドナー自身が妊娠反応検査実施したところ「陽性」であったため、Day+9 に採取施設産婦人科を受診し、妊娠が確認された。ドナーは妊娠継続を希望された。

< 対応 >

採取施設において、妊娠 5 ヶ月目まで経過観察を行う。
最終同意面談時に担当コーディネーターおよび調整医師から、再度、ドナーの方に対して、骨髄採取終了までは妊娠を避けるよう説明の強化を周知徹底します。

当財団としては、再発防止の観点から、当該事実を各採取施設に対し情報提供し、改めて注意喚起を促すこととしました。

以上をご確認の上、ご対応をお願い申し上げます。

財団法人骨髄移植推進財団
ドナー安全委員会
担当 橋下 橋場
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-19
廣瀬第2ビル 7 階
TEL : 03-5280-2200
FAX : 03-5283-5629